

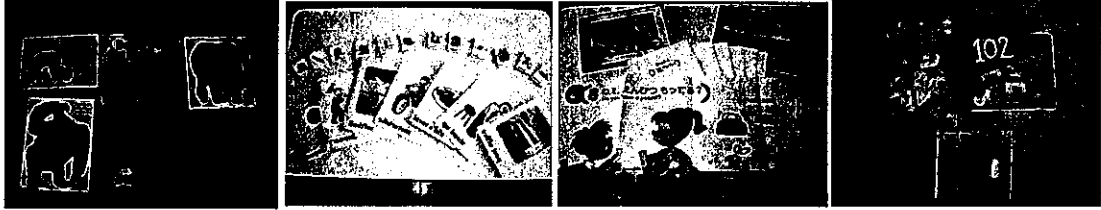
### 1. 調査研究校名

ふりがな	にいみしりつたかおしょうがっこう
学校名	新見市立高尾小学校

### 2. 調査研究のテーマ

研究テーマ	【開始学年】 第1学年・第2学年・第3学年・第4学年・第5学年・第6学年
	外国語活動型・教科型 1コマ・2コマ

### 3. 取組の具体的な内容

<p><b>a 使用した教材</b></p> <p>・主教材を『「小学生のえいご」 Book 1 (低学年用)・2 (中学年用)・3 (高学年用) 【啓林館】』と設定し、「英語ノート」の中の関連単元から、学習活動をピックアップして融合させた年間指導計画を作成している。とりわけ、第2・4・6学年は、前年度の学習(「小学生のえいご」による)に上乘せが必要となるため、「英語ノート」の活用頻度はかなり高い。なお、「英語ノート デジタル版」は全ての学年で、ほぼ毎時間の活用をめざしている。</p> <p>その他の教材(左から)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・絵本</li><li>・絵カード(本市作成)</li><li>・ポスター</li><li>・音楽関係CD等</li></ul>	
<p>・先進校視察や市内公開授業(中学校英語科のものも含む)には積極的に参加し、持ち帰った情報等を校内研修で還元している。</p> <p>・運営指導委員(新見公立短期大学 准教授 山内 圭先生)や2名の外部講師(在日米国人・一般の方)を招聘し、授業参観や研究協議、模擬授業を行うことで、指導力の向上に努めた。</p> <p>・「学級担任が主導する授業づくり」の観点から、ALTとの打ち合わせ時間の確保に努め、教材・教具の使い方や役割分担、児童に対するデモンストレーションやスキットの確認を十分行うように努めている。</p>	
<p><b>c 児童の興味・関心等の学習状況の変容について定量的に把握するための取組</b></p> <p>・全学年とも毎時間、振り返りカードによる自己評価を行い、「見る活動」「聞く活動」「話す活動」をそれぞれ4段階で記入している。また、1単位時間の中での「気づき」等を記述している。これとともに、学習活動の中で使用したワークシートなどは全て個人用ファイルに保存し、ポートフォリオ形式で蓄積したデータから個人の変容の把握に努めている。</p> <p>・6月に全学年で実施した「英語活動に関するアンケート調査」の結果と、2月に実施する2度目のアンケート結果とを比較して分析し、次年度への取り組みに生かすことにしている。</p>	
<p><b>d 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用</b></p> <p>・本市においては、12人のALTが常駐しており、本校においては、毎週木曜日に1・2・3年生、金曜日に4・5・6年生の英語活動に入らせていただいている。しかも、終日勤務のため、児童との交流や、担任との打ち合わせの時間が十分に確保できるため、英語活動の授業はもちろん、その他の生活の中でも日常的に英語に親しむことのできる環境であるといえる。また、小中の連携として、相互の授業参観はもちろん、中学校英語科の先生にATとして授業に入らせていただく取り組みを行っている。</p>	
<p><b>e その他(校内における外国語教育推進体制の構築、地域との連携等)</b></p> <p>・毎週金曜日を「Happy Friday」と称して、日常の中で、できる限り英語を使う日と位置づけることで、職員も児童も英語によるコミュニケーションの充実を図った。その結果、児童にとっては、挨拶やClassroom English、お礼の言葉掛けなどには抵抗感がなくなってきた。職員についても同様の変容が見えてきた。</p>	

### 4. 学習指導案

別途 添付

## 5. 取組の成果等

### ①児童の定性的、定量的な変容

・6月に実施したアンケート結果によると、「英語を聞くことは楽しいですか」の問いに対して、「とても楽しい」と答えた児童は、全校の25.6%であった。この点を高めることが課題であると認識し、「聞く活動」の工夫と充実を図ることを共通理解し、全学年で「リン先生の日記」というActivityを授業の終末に実施することとした。この活動に取り組むことによって、ALTにとってのノーマルスピードで話す簡単な日記の内容がどれぐらい聞き取れるかに挑戦しようとする児童が増えてきており、「聞く活動」に対しての意欲が感じられるようになってきた。年度末のアンケートでの変容に期待したい。

・低学年においては、毎時間歌とチャンツに取り組むことで、コミュニケーションを苦手とする児童も楽しみながら活動に参加できるようになってきた。また、高学年では、日常の中でも、身近な物を英語で表現したいという願いをもった児童が、「これは英語で何というのですか。」と質問することが増えてきた。その結果、児童の手による教室掲示の中に、アルファベットが目立つようになってきた。

・単元ごとに、目標に対する実現の状況を見ると、単元の難易度にもよるが、学習を重ねるに従って達成度A判定の児童の割合が増えてきている。また、C判定の児童の割合が減少する傾向がみられることから、4月当初に比べ、意欲的に学習に取り組んでいる児童が増えていると考えられる。

・給食時の放送を担当している委員会が、自主的に英語の歌を放送したり、英語を題材にしたクイズを出題したりしていることから、児童が、英語を身近に感じていることがうかがえた。

### ②教員の変容

・昨年度までの英語活動は、どちらかというとALT主導で行われ、担任はアシスタントの役割でしかなかった。しかし、本年度は年間計画から単元構想まで全てを担当教師が把握し、作成した指導案をALTに提案するという形で進めることとした。従って、隣接学年の連携が密になるとともに、教材研究や教具の開発にも熱心に取り組む、担任主導で授業が実践されている。また、そのことによって、児童の実態や変容をとらえやすくなり、個別の支援が充実してきた。

・ICT機器を利用した授業づくりが急務と考え、積極的に研修し、全担任が、「英語ノート デジタル版」を電子黒板によって活用することができるようになり、授業内容が充実し、児童の意欲を喚起する一助となっている。

・ALTの日本語が堪能でないため、打ち合わせを英語で行わなければならない都合もあり、教員は英語でのコミュニケーションの必要性を実感し、コミュニケーションの実践力の向上に努めている。

・研修と授業公開を繰り返す中で、英語活動の授業に対する抵抗感を払拭することができた。

・「Happy Friday」の取り組みによって、職員朝礼や挨拶・返事、児童にとって既習の英単語等を英語で表現することにも徐々に慣れ、英語でのコミュニケーションを楽しもうとする意識が高まってきている。

### ③組織の変容

・前述の通り、昨年度までは個人研修による実践であったが、本年度は、低・中・高学年部会に分け、それぞれの研修によって方向性を決め、全体の中で協議し、実践に移るといった形が定着してきた。

理解の上で取り組みを進める組織が機能し始めた。校内環境では、英語活動教室(Eチャレroom)を新設したり、全ての教室に、英語で教室名を表記した絵看板を設置したりするなど、学習したことの日常化と雰囲気づくりに努めている。

・総務部を中心に教材教具の選定と購入を計画的に行い、かなり充実してきた。また、管理・保管についても機能的に整理されている。

## 6. 次年度以降の継続・展開

・本年度は1年次ということで、授業づくりについては、仮説-検証を繰り返す形で、各担任が方向性を模索してきた。公開授業についても、提案授業と受け止め、成果と課題を明らかにしてきた。そのため、1時間の授業の流れやめあてのめあせ方、担任とALTとの関わり方等が、必ずしも統一されているわけではない。来年度に向けては、本年度に検証された成果を全職員で共有し、一定の統一感の基で授業を構築する必要がある。また、明らかになった課題についてもクリアする方策を探り出し、授業に生かしていかなければならない。

・評価規準をより明確にし、児童の変容をより具体的に把握するために、授業で活用している自己評価シートを見直したり、より評価しやすく、児童の変容がとらえやすいワークシートを作成していかなければならない。そのためには、「英語ノート」を深く研究し、主教材とうまくかみ合わせることで達成できると考えている。また、第2・4・6学年においては、来年度も本年度と同じ単元を学習することもあり、来年度への上積みを考える上で「英語ノート」等を有効に活用していかなければならないと考えている。

・本年度から始めた小中連携の取り組みは大変有効であり、今後も継続しつつ、充実させていきたいと考えている。学習指導に関する研修の必要性はいままでもないが、職員の実践的な英語によるコミュニケーション力も研鑽を図るべきであり、その際、中学校英語科の先生方との研修が大きな助けとなるはずである。また、英語科の先生にATとして授業に入っていただくことで、きめ細かに、児童一人一人に目を向け、必要に応じた支援をすることができるとともに、その専門性の高さを生かした指導法も学ぶことができる。外国の文化にも精通しておられれば、そのことを児童に伝えていただくことができ、より児童の異文化理解が深まり、英語によるコミュニケーションに対する意欲も増すと考える。さらに、本校の卒業生とも授業の中で交流する機会がもてれば、新たな小中連携の成果が得られるものと期待している。

・校内環境については、職員はもとより、児童の手による掲示を教室だけでなく、廊下階段等の壁面にまで広げていきたい。その際、「学習した内容をみんなに伝えよう」というようなコンセプトで、無理なく継続できるような取り組みとしたい。

・ICT活用手段として、電子黒板と「英語ノート デジタル版」を活用しているが、加えて、プレゼンテーションソフト「パワーポイント」によって、自作の教材を作成することができれば、さらに授業の幅がひろがり、児童にとって、有意義な活動を設定できると考えている。

・教材・教具を計画的に選定し、購入していきたい。

・外部講師を招聘して、授業参観や研究協議、模擬授業などを行い、職員の指導力向上に努めたい。

## 7. 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組	主催研究会・発表会等	先進校視察・協議会等
4月	第1回 校内研修 (外国語活動における理論研究) 自主研修 (年間指導計画の作成)		
5月	第①回 校内授業研修会 (本校5年生:外部講師) 自主研修 (教材研究・指導案作成)		
6月	第2回 校内研修 (研究の進め方・今年度の方向性) 第3回 校内研修 (第1回 アンケート項目の設定)		第1回運営指導委員会
7月	第4回 校内研修 (アンケート結果の分析) 第②回 校内授業研修会 (本校3年生:外部講師)	第1回 公開授業研修会 第2学年「My body」 HRT 山本侑子 ALT Jach Lin	
8月	自主研修 (年間指導計画の完成) 第5回 校内研修 (夏期休業中の研修報告)		
9月	第6回 校内研修 (研究の全体構想図作成・校内環境整備) 第7回 校内研修 (めざす児童像の再確認)		
10月	第8回 校内研修 (前期の反省・研究仮説決定) 第9回 校内研修 (ICT活用:英語ノート デジタル版)		
11月	第10回 校内研修 (指導案検討:1・5年) 第③回 校内授業研修会 (本校1年生:「I like milk.」) 第④回 校内授業研修会 (本校5年生:「I want to go to London.」)		寝屋川市 研究発表会 全体会 寝屋川市民会館 大ホール 京都市九条地域小中一貫研究 京都市立山王小学校
12月	第11回 校内研修 (指導案検討:4年)	第2回 公開授業研修会 第4学年「What subject do you like?」 HRT 竹本久美 ALT Jach Lin	京都市 研究発表会 京都市総合教育センター
1月	第12回 校内研修 (指導案検討:3年生) 第⑤回 校内授業研修会 (本校1年生:「I have a dog.」) 第1回 小中連絡会 (本校6年生との授業構想) 第13回 校内研修 (指導案検討:6年)		第2回運営指導委員会  全国小学校英語活動実践研究大会 岐阜県瑞穂市立生津小学校・長良川国際会議場
2月	第14回 校内研修 (本年度の研究のまとめ)	第3回 公開授業研修会 第6学年「My dream」 HRT 福田泉美 ALT Jach Lin AT 田原栄子(一中)	
3月			

# 第1学年 外国語活動指導案

新見市立高尾小学校

1 単元名 ミルクがすきだよ (I like milk.)

2 単元目標

○食べ物や飲み物の言い方に慣れ親しむ。

○友達と好きな食べ物や飲み物は何かをたずねたり答えたりする。

3 表現や言語材料

基本構文 What's this? It's a ~.

Do you like~? Yes, I do. / No, I don't.

What food/drink/dessert do you like? I like ~.

言語材料 主食・副食 : bread, rice, pizza, spaghetti, sandwich, hamburger, steak, salad, soup, curry and rice, *miso*-soup, fish, French fries, ham and sausage  
飲み物 : soda, milk, water, orange juice, tea, green tea, cocoa  
デザート : banana, apple, orange, cake, ice cream, cookie, pudding, doughnut, candy, chocolate

4 指導計画 (全4時間)

第1時 おいしそうだね

第2時 好きな食べ物や飲み物はなあに

第3時 何が好きかな

第4時 ランチタイムを楽しもう

5 指導上の立場

本単元は、食べ物や飲み物の言い方に慣れ親しみ、友達と好きな食べ物や飲み物は何かをたずねたり答えたりすることにより、進んでコミュニケーションを図ることをねらいとしている。

低学年の児童にとって、食べ物は毎日の食事を通して、とても身近なものである。レストランやファーストフード店でのランチタイムの経験も多いと思われること、また、食べ物の好き嫌いもはっきりしてくる時期であることから、伝え合う活動を楽しむことができる単元であると考えられる。また、食べ物や飲み物は、日本語と同じように幼い頃から生活の中で自然に使用している言語も多く、覚えやすいと考える。

6 本時案 (第1時)

目標	○ランチメニューに興味をもち、意欲的に発話している。(関心・意欲) ○飲み物や食べ物の英単語に慣れる。(表現)	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HRT●ALT)
Greeting (2)	○あいさつをする。	●◎明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
In-put (5)	○「The Hello Song」を歌いながら踊る。 ○「I like Doughnuts」を歌う。 ○今日のめあてを知る。	◎●英語の歌を2曲歌い、意欲を喚起する。
	<b>食べ物や飲み物を英語で言ってみよう</b>	
	○リズムにのって単語練習をする。 bread, rice, pizza, spaghetti, sandwich, hamburger, steak, salad, soup, curry and rice, miso-soup, fish, French fries, ham and sausage, soda, milk, water, orange juice, tea, green tea, cocoa, banana, apple, orange, cake, ice cream, cookie, pudding, doughnut, candy, chocolate	●◎チャンツに合わせてリズムよく発話することができるようにする。 ●◎ALTの答えを聞いてカードをとる。
Out-put (32)	○「Keyword Game」をする。 ・食べ物や飲み物の言葉をよく聞いたり、キーワード以外の言葉を復唱したりすることで、食べ物や飲み物の言葉に慣れる。 ○「Missing Game」をする。 ・ALTが食べ物の絵カードを黒板に貼り、児童が目隠しをしている間にカードの中の1枚を取る。児童は目を開け、取られたカードが何か答える。	◎●マグネットを取ることができにくい児童は個別に支援する。 ●◎きちんと目隠しをしていない児童に指導する。
Wrap-up (5)	○「The very hungry caterpillar」を聞く。	●◎お話に出てくるくだものは何か考えながら聞くことができるようにする。
Greeting (1)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。 ○あいさつをする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを賞賛し、次時への意欲づけをする。

評価	関心・意	○ランチメニューに興味をもち、意欲的に発話している。(観察)
	表現	○飲み物や食べ物の英単語に慣れる。(観察)

(第2時)

目標	○飲み物や食べ物の言い方に慣れ、意欲的に発話している。(関心・意欲) ○飲み物や食べ物が好きか嫌いかをたずねる言い方に慣れる。(表現)	
過程	児童の活動	教師の支援(◎HRT●ALT)
Greeting (2)	○あいさつをする。	●◎明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
In-put (5)	○「The Hello Song」を歌いながら踊る。 「I like Doughnuts」を歌う。 ○今日のめあてを知る。	◎●英語の歌を2曲歌い、意欲を喚起する。
飲み物や食べ物が好きかきらいかをたずねる言い方に慣れよう		
Out-put (2 5)	○リズムにのって基本構文を練習する。 What food do you like? What drink do you like? I like ~. ○「Food Basket」をする。 ・動きながら、食べ物の言い方に慣れるようにする。 ○「Card Game」をする。 ・4人ずつのグループになり、ALTがfoodと言ったら、児童がWhat food do you like?と質問し、ALTがdrinkと言ったら、児童がWhat drink do you like?と質問する。ALTは児童の質問にI like ~.で答え、その答えた食べ物や飲み物のカードを児童が取る。	●◎チャンツに合わせてリズムよく発話することができるようにする。 ●◎ALTの答えを聞いてカードを取る。 ◎●カードを取ることができにくい児童は個別に支援する。
In-put (7)	○「Lin's Diary」を聞く。	●◎ALTの日記を聞き、単語をしっかりと聞いて日本語で穴うめをする。
Wrap-up (5)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを賞賛し、次時への意欲づけをする。
Greeting (1)	○あいさつをする。	

評価	関・意	○飲み物や食べ物の言い方に慣れ、意欲的に発話している。(観察)
	表現	○飲み物や食べ物が好きか嫌いかをたずねる言い方に慣れる。(観察)

(第3時)

目標	○飲み物や食べ物の言い方に慣れ、意欲的に発話している。(関心・意欲) ○どんな飲み物や食べ物が好きかを尋ねる言い方に慣れる。(表現)	
過程	児童の活動	教師の支援(◎HRT●ALT)
Greeting (1)	○あいさつをする。	●◎明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
Warm-up (5)	○「The Hello Song」を歌いながら踊る。 ○「I like Doughnuts」を歌う。 ○今日のめあてを知る。	◎●英語の歌を2曲歌い、意欲を喚起する。
<b>すきな食べ物をたずねる言い方に慣れよう</b>		
In-put (5)	○食べ物の単語を練習する。 ○基本構文を練習する。 What food do you like? What drink do you like? What dessert do you like? I like ~.	●◎電子情報ボードに食べ物の絵を映し、コンピュータの音声の後、ALTが発話し、その後児童が発話するようにする。
Out-put (20)	○「Corners Game」をする。(8) ・コーナーに食べ物や飲み物の絵を貼り、音楽に合わせて動き、音楽が止まったら選んだ食べ物や飲み物のコーナーに行くことで好きな食べ物や飲み物の名前の尋ね方や答え方に慣れる。 ○「My lunch を作ろう I」をする。(12) ・自分の好きな食べ物をワークシートに貼る。 ・ワークシートに書いた食べ物や飲み物について、隣の友達と会話をし、好きな食べ物、飲み物、デザートを質問し合う。What food do you like?と質問し、I like ~.で答える、What drink do you like?と質問し、I like ~.で答える、What dessert do you like?と質問し、I like ~.で答えるという活動をお互いにする。	●◎集団発話を取り入れ、全員で好きな食べ物や飲み物を尋ねて、ALTが答え、そのコーナーにいる児童に1ポイント入るようにする。 ◎●活動が楽しめるよう、単語を十分覚えていない児童に寄り添い、声に出して言うように支援したり、ワークシートを指し示しながら意思が伝えられるようにする。
In-put (8)	○「Lin's Diary」を聞く。	●◎ALTの日記を聞き、単語をしっかりと聞いて、出てきた食べ物の絵に印をつける。
Wrap-up (5)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲づけをする。
Greeting (1)	○あいさつをする。	

評価	関・意	○飲み物や食べ物の言い方に慣れ、意欲的に発話している。(観察)
	表現	○どんな飲み物や食べ物が好きかをたずねる言い方に慣れる。(観察)

(第4時)

「たずね」と「尋ね」の違いについて、  
子供は「たずね」は「たずねる」の「たず」に  
「ね」がつく。

目標	○これまでに学習した英語表現を用いて、意欲的に発話している。(関心・意欲) ○友達同士で好きな飲み物や食べ物をたずねたり答えたりする。(表現)	
過程	児童の活動	教師の支援(◎HRT●ALT)
Greeting (1)	○あいさつをする。	●◎明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
Warm-up (5)	○「The Hello Song」を歌いながら踊る。 ○「I like Doughnuts」を歌う。 ○今日のためあてを知る。	◎●英語の歌を2曲歌い、意欲を喚起する。
In-put (5)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     どんなランチがすきかをたずねたり、こたえたりしよう                 </div> ○食べ物の単語を練習する。 ○基本構文を練習する。 What food do you like? What drink do you like? What dessert do you like? I like ~.	●◎電子情報ボードに食べ物の絵を映し、コンピュータの音声の後、ALTが発話し、その後児童が発話するようにする。
Out-put (23)	○「My lunch を作ろうII」をする。 ・実際に店員と客になって、自分が好きな食べ物を選んで、品物を受け取り、自分の昼食をそろえていく自分の好きな食べ物を発話しながら求めることで、好きな物を尋ねたり答えたりする英語表現を確かにする。 ○「Interview Game」をする。 ・出会った友達と好きな食べ物、飲み物、デザートを質問し合う。 What food do you like?と質問し、I like ~.で答える、What drink do you like? と質問し、I like ~.で答える、What dessert do you like?と質問し、I like ~.で答えるという活動をお互いにする。	●◎集団発話を取り入れ、全員で好きな食べ物や飲み物を尋ねて、ALTが答え、そのコーナーにいる児童に1ポイント入るようにする。 ◎●活動が楽しめるよう、単語を十分覚えていない児童に寄り添い、声に出して言えるように支援したり、ワークシートを指し示しながら意思が伝えられるようにする。
In-put (5)	○「The very hungry caterpillar」を聞く。 ・登場する食べ物を明確にし、絵本に親しむ。	
Wrap-up (5)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲づけをする。
Greeting (1)	○あいさつをする。	

評価	関・意	○これまでに学習した英語表現を用いて、意欲的に発話している。(観察)
	表現	○友達同士で好きな飲み物や食べ物をたずねたり答えたりする。(観察)



## 第2学年 外国語活動指導案

新見市立高尾小学校

### 1 単元名 わたしのからだ (My Body)

### 2 単元目標

- 「体の部分」や「体の動き」の言い方に親しむ。
- 「体の部分」や「体の動き」を表す英語を使って、楽しく活動する。
- 日本と外国のジェスチャーの違いを知る。

### 3 表現や言語材料

基本構文 Please touch your~. Please touch your something~.

Raise your right~/left~ Clap your hands. Raise your hands.

Run. Jump. Walk. Stand up. Sit down.

What does it mean? I don't know. Please come here.

言語材料 head, mouth, shoulder(s), knee(s), eye(s), ear(s), nose, hand(s),  
foot(feet), toe(s), arm(s), leg(s), face  
red, yellow, blue, green, right, left  
jump, clap your hands, raise your hand, sit down, stand up, run,  
walk

### 4 指導計画 (全5時間)

- 第1時 体の部分の言い方に親しむ。
- 第2時 体の部分や左右の言い方を使って活動する。
- 第3時 動作の言い方に親しむ。
- 第4時 日本と外国のジェスチャーの違いを知る。

### 5 指導上の立場

本単元は、「体の部分」や「体の動き」を表す言い方を知り、それらを使った歌やゲームなどを楽しみながら英語表現に慣れ親しむとともに、日本と外国のジェスチャーの違いに気付くという活動からなる単元である。児童自身の体を表す言い方を題材にできるため、体の名称や体の動きを表す英語を身近に感じながら活動に取り組むことができると思われる。また、体全体で英語に親しむことのできる内容であり、児童にとって興味・関心の高い単元内容であると考えられる。さらに、ALTから外国のジェスチャーの仕方やその意味を紹介してもらい、日本と外国のジェスチャーの違いに気づくとともに、非言語であるジェスチャーもコミュニケーションには重要な役割を果たすことも知らせたい。

6. 本時案 (第1時)

目標	<p>○体の部分の言い方を使って、コミュニケーションを楽しもうとしている。(関心・意欲)</p> <p>○体の部分の言い方を、歌やゲームの中で進んで使う。(表現)</p>	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HLT ●ALT)
Greeting (2)	○あいさつをする。	◎●明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
In-put (1 2)	<p>○「Head and shoulders」を聞く。</p> <p>・1回目は聞くだけにして、体の部分を意味する英語が出てくることをつかませる。2回目以降は、聞きながら動作を試みる。</p> <p>○今日のめあてを知る。</p>	◎●ジェスチャーを交えながら一緒に楽しく歌う。
Out-put (2 5)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">                     知ってる？ 体の名前                 </div> <p>○「Word lesson」をする。</p> <p>・チャンツに合わせて、動作をしながらALTの英語に続いて発話する。</p> <p>○「Head and shoulders」を歌う。</p> <p>・歌いながら動作する。</p> <p>○「Simon Says」をする。</p>	<p>◎●「体の部分」の名称を押さえながら、言い方に十分慣れさせる。</p> <p>●◎はじめはゆっくり、慣れてきたら徐々にテンポを速くして歌わせる。</p> <p>●◎ALT は初めは児童と一緒に動作をするが、だんだんとなくしていき、英語の指示をよく聞きとるよう支援する。</p>
Wrap-up (5)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しんだり、ゲームや歌ができたことを賞賛し、次時の活動意欲へ繋ぐようにする。
Greeting (1)	○ あいさつをする。	

評価	関・意	○体の部分の言い方を使って、コミュニケーションを楽しもうとしている。(観察)
	表現	○体の部分の言い方を、歌やゲームの中で進んで使う。(観察)

## (第2時)

目標	○体の部分や左右の言い方を使って、コミュニケーションを楽しもうとしている。(関心・意欲) ○体の部分や左右の言い方を使って、歌やゲームの中で使う。(表現)	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HLT ●ALT)
Greeting (2)	○あいさつをする。	◎●明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
In-put (1 2)	○「Head and shoulders」を歌う。 ○チャンツに合わせて、体の部分や左右の言い方の復習をする。 ○今日のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">             体のここは なんていう？           </div>	◎●ジェスチャーを交えながら一緒に楽しく歌う。 ●チャンツに合わせて絵カードを示すことで、リズムよく発話することができるようにする。
Out-put (2 0)	○「Let's make a bear.」ゲームをする。 ・いくつかのパーツに分けられた Bear を完成させていく。  ○「What is missing?」ゲームをする。  ○「Simon Says」をする。	◎●「体の部分」の名称を押さえながら絵本「A Teddy Bear」の内容を想起させる。 ◎●ALT の読みに合わせて、Bear を完成させる。 (Right, left は、児童に向かって右・左として進める。) ◎●完成させた Bear から体の一パーツを抜くようにする。 ●◎ALT は初めは児童と一緒に動作をするが、だんだんとなくしていき、英語の指示をよく聞きとるよう支援する。
In-put (5)	○「Lin's Diary」を聞く。	●◎ALT の日記を聞き、単語をしっかりと聞いて「体の部分」を日本語で書き取るよう支援する。
Wrap-up (5)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しんだり、ゲームや歌ができたことを賞賛し、次時の活動意欲へ繋ぐようにする。
Greeting (1)	○あいさつをする。	

評価	関・意	○体の部分や左右の言い方を使って、コミュニケーションを楽しもうとしている。(観察)
	表現	○体の部分や左右の言い方を使って、歌やゲームの中で使う。(観察)

(第3時)

目標	○動作の言い方を使って、コミュニケーションを楽しもうとしている。(関心・意欲) ○動作の言い方を、歌やゲームの中で進んで使う。(表現)	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HLT ●ALT)
Greeting (2)	○あいさつをする。	◎●明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
In-put (5)	○「Head and shoulders」を歌う。 ○チャンツに合わせて、体の部分や左右の言い方の復習をする。  ○今日のめあてを知る。	◎●ジェスチャーを交えながら一緒に楽しく歌う。 ●慣れてきたら、体のいくつかの部分は歌わずにやったり、テンポを速めてやる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     体のうごきを えいごで言ってみよう                 </div>		
Out-put (2 7)	○「Word lesson」をする。 ・チャンツに合わせて、動作しながらALTの英語に続いて発話する。	●◎動作をして見せながら、ゆっくりとALTに続いて言わせる。
	○「Simon Says」をする。	●◎初めは児童と一緒に動作をする が、だんだんとなくしていき、英語の指示をよく聞きとるよう支援する。
In-put (5)	○「Lin's Diary」を聞く。	●◎ALTの日記を聞き、単語をしっかりと聞いて、「動作」を日本語で書き取るよう支援する。
Wrap-up (5)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しんだり、ゲームや歌ができたことを賞賛し、次時の活動意欲へ繋ぐようにする。
Greeting (1)	○あいさつをする。	

評価	関・意	○動作の言い方を使って、コミュニケーションを楽しもうとしている。(観察)
	表現	○動作の言い方を、歌やゲームの中で進んで使う。(観察)

(第4時)

<p>目標</p>	<p>○日本と外国のジェスチャーの違いを知り、コミュニケーションを楽しもうとしている。 (関心・意欲)</p> <p>○日本と外国のジェスチャーを、ゲームの中で積極的に使う。 (表現)</p>	
<p>過程</p>	<p>児童の活動</p>	<p>教師の支援 (◎HLT ●ALT)</p>
<p>Greeting (2)</p>	<p>○あいさつをする。</p>	
<p>In-put (1 2)</p>	<p>○「Head and shoulders」を歌う。 ○チャンツに合わせて、動作の復習をする</p> <p>○今日のめあてを知る。</p>	
<p>どんな いみかな？</p>		
<p>Out-put (2 5)</p>	<p>○ALT がするジェスチャーが、何を意味するのかを当てる。 ・ I don't know.                      ・ Please come here. ・ Me.                      ・ Telephone.      など。</p> <p>○「Twister」をする。</p> <p>○絵本「From Head to Toe」を聞く。 ・ 動作をまねする時は、「I can do it.」と大きな声で答える。</p>	
<p>Wrap-up (5)</p>	<p>○今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。</p>	
<p>Greeting (1)</p>	<p>○ あいさつをする。</p>	

<p>評 関・意</p>	<p>○日本と外国のジェスチャーの違いを知り、コミュニケーションを楽しもうとしている。(観察)</p>
<p>価 表 現</p>	<p>○日本と外国のジェスチャーを、ゲームの中で積極的に使う。(観察)</p>

## 第3学年 外国語活動指導案

新見市立高尾小学校

- 1 単元名 7時に起きるよ (I get up at seven.)
- 2 単元目標
  - 時刻のたずね方や答え方, 日常生活を表現する英語に関心を持ち, それらを用いてコミュニケーションを図ろうとする。
  - 時刻のたずね方や答え方, 日常生活を表現する言い方に慣れる。
  - ゲームや会話を通して日常生活での使い方を知り, それを使って「すごろく」を作ったり, 楽しんだりする。
- 3 表現や言語材料
  - 基本構文 What time is it? It's ... (o'clock).  
What time do you...? I...at... (o'clock).
  - 言語材料 get up, eat breakfast, go to school, eat lunch, go home,  
eat dinner, take a bath, go to bed, wash my face, brush my teeth
- 4 指導計画 (全5時間)
  - 第1時 時刻のたずね方と答え方に慣れる。
  - 第2時 日常生活を表現する言い方に慣れる。
  - 第3時 「何時に何を」するという言い方に慣れる。
  - 第4時 「すごろく」を通して, 「何時に何を」するという言い方に慣れる。
- 5 指導上の立場

本単元は, 時刻や日常生活を表現する言い方について学習する。「6時30分に起きて7時に朝食をとる」「4時30分に帰宅する」という行動は, 児童にとって日常の活動である。また, ジェスチャーでも表すことができるので, コミュニケーションを図りやすい教材である。本時では日常生活を表現する言い方をゲームや会話を通して楽しく慣れるようにしていきたい。

6. 本時案 (第1時)

目標	<p>○時刻や数字を表現する言い方に関心をもち、進んで話そうとしている。 (関心・意欲)</p> <p>○時刻や数字を表現する言い方に慣れ、ゲームや会話の中で進んで使う。 (表現)</p>	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (1)	○あいさつをする。(体調, 天気, 日付など)	●◎明るく大きな声であいさつをし, 活動意欲を高める。
Warm-up (4)	○「7 steps」を歌ったり, 体を動かしたりする。	●◎時刻に関連のある数字の歌を歌うことで, 活動に意欲をもつようにする。
(5)	○今日のめあてを知る。 ・本单元では最後に「すごろくゲーム」, をすることを 知る。 ・見本の「すごろく」を見ながら, どんな活動をしていくのか考える。	◎本单元では, 「すごろくゲーム」を行うことを知らせ, そのためにはどんな活動が必要か考えさせ, 見通しをもって活動できるようにする。
<b>時刻や数字の言い方を知ろう</b>		
In-put (10)	○時刻や数字の言い方を練習する。 Number (1~20, 30) の練習 one o'clock two o'clock five thirty... What time is it? It's ~. の練習	●チャンツに合わせて時刻を示した時計を提示することで, リズムよく発話することができるようにする。
Out-put (19)	○「今何時ゲーム」をする。 ・時刻を書いたカードを持って, 向かい合って2列に並ぶ。 ・児童が「What time is it?」と聞くと, ALTが「It's ~」と時刻を答える。 ・その時刻のカードを持っている児童は列を一周して, 自分の場所に再び座る。 ○「カード取りゲーム」をする。 ・2つのチームに分かれ, 児童が「What time is it?」と聞く。 ・ALTが答えた時刻のカードを速く見つけたチームに, 1ポイント。	◎●自分の持っているカードが何時を表すのか知り, ゲームを楽しむことができるようにする。  ◎●ゲームの途中でも, 英語表現の仕方を確認し, 自信をもって, 発話できるようにする。
Wrap-up (5)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入する。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し, 次時への意欲づけをする。
Greeting (1)	○あいさつをする。	

評	関・意	○時刻や数字を表現する言い方に関心をもち, 進んで話そうとしている。(観察)
価	表現	○時刻や数字を表現する言い方に慣れ, ゲームや会話の中で進んで使う。(観察)

(第2時)

目標	<p>○日常生活を表現する言い方に関心をもち、進んで話そうとしている。 (関心・意欲)</p> <p>○日常生活を表現する言い方に慣れ、ゲームや会話の中で進んで使う。 (表現)</p>	
過程	<p>児童の活動</p>	<p>教師の支援 (◎HRT ●ALT)</p>
Greeting (1)	○あいさつをする。(体調, 天気, 日付など)	●◎明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。
Warm-up (4)	○「7 steps」の替え歌「20 steps」を歌う。  ○前時の復習として、発話練習をする。 What time is it? It's... (o'clock).	●◎前時で学習した時刻に関連のある数字の歌を歌うことで、活動に意欲をもつようにする。  ●◎前時に学習したことを想起することによって、自信をもって発話できるようにする。
In-put (9)	○今日のめあてを知る。	
<p><b>毎日する動作の言い方を知ろう</b></p>		
Out-put (20)	<p>○どんな動作があるか考えたり、英語表現の仕方をALTに聞いたりする。</p> <p>○毎日する動作の言い方を知り、練習する。 get up, eat breakfast, go to school, eat lunch, go home, eat dinner, take a bath, go to bed, wash my face, brush my teeth</p> <p>○「Haetataki Game」をする。 ・4つのグループに分かれ、毎日する動作のカードを取る。</p> <p>○「ジェスチャーゲーム」をする。 ・2つのチームに分かれ、チームの代表がしたジェスチャーを英語で答える。その時チーム全員で言う。</p> <p>○「ジェスチャーゲームⅡ」をする。 ・2つのチームに分かれ、ALTとHRTが提示したカードをチームの代表がジェスチャーで伝え、英語で言えたら次の人と交代する。</p>	<p>◎●ジェスチャーを使うなどして、ALTに伝えるようにする。</p> <p>●チャンツに合わせて絵カードを示すことで、リズムよく発話することができるようにする。</p> <p>◎●ALTが読み、HRTは動作をし、自信のない児童も動作を見て取れるようにする。</p> <p>◎●ゲームの途中でも、英語表現の仕方を確認し、自信をもって、発話できるようにする。</p> <p>●◎きちんと発話してから、次に進むようにする。</p>
Wrap-up (10)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入する。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲づけをする。
Greeting (1)	○あいさつをする。	

評価	関・意	○日常生活を表現する言い方に関心をもち、進んで話そうとしている。(観察)
	表現	○日常生活を表現する言い方に慣れ、ゲームや会話の中で進んで使う。(観察)



(第3時)

目標	<p>○「何時に何をやる」という言い方で進んで話そうとしている。 (関心・意欲)</p> <p>○「何時に何をやる」という言い方に慣れ、ゲームや会話の中で積極的に使う。 (表現)</p>	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (1)	○あいさつをする。(体調, 天気, 日付など)	●◎明るく大きな声であいさつをし、活動意欲を高める。
Warm-up (4)	○「7 steps」の替え歌「20 steps」を歌う。  ○前時の復習として、発話練習をする。 get up, eat breakfast, go to school, eat lunch, go home, eat dinner, take a bath, go to bed, wash my face, brush my teeth	●◎前時で学習した時刻に関連のある数字の歌を歌うことで、活動に意欲をもつようにする。  ●◎前時に学習したことを想起することによって、自信をもって発話できるようにする。
In-put (9)	○今日のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">動作と時刻を合わせて言おう</div> ○毎日する動作の言い方を知り、練習する。 What time do you get up ? I get up at six o'clock. I eat lunch at twelve thirty. など	◎●ジェスチャーを使うなどして、ALTに伝えるようにする。  ●チャンツに合わせて絵カードを示すことで、リズムよく発話することができるようにする。
Out-put (15)	○「仲間さがしゲーム」をする。 ・日常生活が書いてあるカードに時刻を記入する。 ・全員が記入したら移動し、出会った人とジャンケンをする。 ・勝った人が“What time do you ○○?”と聞き、負けた人が“I ○○ at ~.”と答える。時間が同じだったら、印を付ける。 ・印のたくさん付いた人が勝ち。	◎●質問の仕方など自信のない児童に助言をしたり、めあてができていない児童を称賛したりする。  ◎●ゲームの途中でも、英語表現の仕方を確認し、自信をもって、発話できるようにする。
In-put (5)	○「Lin's Diary」を聞く。	●◎ALTの日記を聴き、何をしたらか順番をワークシートに記入するよう支援する。
Wrap-up (10)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入する。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲づけをする。
Greeting (1)	○あいさつをする。	

評価	関・意	○「何時に何をやる」という言い方で進んで話そうとしている。(観察)
	表現	○「何時に何をやる」という言い方に慣れ、ゲームや会話の中で積極的に使う。(観察)

(第4時)

目標	○「何時に何をする」という言い方で進んで話そうとする。 (関心・意欲) ○「すごろくゲーム」を通して、「何時に何をする」という言い方に慣れる。 (表現)	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (1)	○あいさつをする。(体調, 天気, 日付など)	●◎明るく大きな声であいさつをし, 活動意欲を高める。
Warm-up (4)	○「7 steps」の替え歌「20 steps」を歌う。  ○前時の復習として, 発話練習をする。 What time do you get up ? I get up at six o'clock. I eat lunch at twelve thirty.	●◎前時で学習した時刻に関連のある数字の歌を歌うことで, 活動に意欲をもつようにする。  ●◎前時に学習したことを想起することによって, 自信をもって発話できるようにする。
In-put (5)	○今日のめあてを知る。	
	すごろくゲームをしよう	
Out-put (2 6)	○すごろくゲームのやり方を知る。 ○すごろくゲームをする。 ・グループごとにそれぞれのすごろくをする。 ・ゴールした児童は, ゴールしていない児童を応援する。 ・「すごろく」をチェンジして2回目を行う。	◎●4つのグループに分かれて「すごろく」をする。 ◎●時刻を答えるところでは, 他の児童が“ What time is it?” とたずねる。 ◎●「1回休み」や「1コマ戻る」等の指示があれば, それに従うようにさせる。 ◎●Let's go, one, two, three, next please, 等の会話を使用することに気をつけさせる。
Wrap-up (8)	○今日のがんばりをふり返りカードに記入する。	◎●答え方に困っている児童に助言をしたり, めあてができていない児童を称賛したりする。
Greeting (1)	○あいさつをする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し, 次時への意欲づけをする。

評 関・意	○「何時に何をする」という言い方で進んで話そうとする。(観察)
価 表現	○「すごろくゲーム」を通して、「何時に何をする」という言い方に慣れる。(観察)

# 第4学年 外国語活動指導案

新見市立高尾小学校

1 単元名 好きな勉強はね (What subject do you like?)

2 単元目標

- いろいろな教科や教室の言い方に親しむ。
- 好きな教科をたずねたり、答えたりすることにより、進んでコミュニケーションを図る。
- 様々な方法を用いて、自分の意思を伝えようとする。

3 表現や言語材料

基本構文

What subject do you like? I like ~.

Do you like~? Yes, I do. No, I don't.

What room is this? It's the~.

What's the first period on ~? We study~.

言語材料

Japanese, math, social studies, science, music, arts and crafts, P. E. ,  
home economics, computer, English,  
science room, music room, arts and crafts room, library, computer room, classroom,  
principal's office, teachers' room, nurse's office, gym, entrance, playground,  
Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday

4 指導計画 (全4時間)

- 第1時 何の教科が好き?
- 第2時 この部屋は何の教室?
- 第3時 自分だけの時間割を作ろう
- 第4時 好きな教科アンケート大会

5 指導上の立場

本単元は、教科の言い方や学校内の施設や部屋の言い方に親しみ、それを尋ねたり答えたりできることをねらいとしている。

教科名や教室名は児童にとってとても身近なものであるが、普段の生活の中で英語で呼ぶことはめったにない。それだけに、それらを英語でどう表現するかはとても興味深く知りたいことのひとつと考えてもよいと思われる。また、これらの単語は今後の学校生活でも自然な形でふんだんに使用しやすいだけに、英語の授業以外でも理解を深めることができるのではないだろうか。

4年生は昨年度も同内容の学習をしているが、時間の経過とともに、再び新鮮な感覚で学習できるものと考えている。また、想起が確かなものになるにつれ、自信を深めた学習が展開できるのではと期待している。

6 本時案 (第1時)

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝えたいことや自分の思いを、ジェスチャー等を用いて友だちに進んで伝えようとする。(関心・意欲)</li> <li>○ 教科の言い方や好きな教科を尋ねたり、答えたりする言い方に親しむ。(表現)</li> </ul>	
過 程	<p>児 童 の 活 動</p>	<p>教 師 の 支 援 (◎HRT ●ALT)</p>
Greeting (1)	○ あいさつをする。(体調、天気、日付など)	●◎元気よくあいさつができるよう励ます。
Warm-up (4)	○ 「The Days of the Week」を歌う。 ・ 曜日の言い方を確認しながら、日曜日から歌い始める。	◎●本単元で学習する曜日に関連した歌を、体でリズムを取りながら歌わせ、意欲を喚起する。
In-put (5)	○ 今日のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>何の教科が好き？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ALTに質問をしたり、ALTからの質問に答えたりする。</li> <li>○ 基本構文と各教科の呼び方を知り、練習する。 What subject do you like? I like ~. Do you like~? Yes, I do. No, I don't.</li> </ul>	●◎校舎の情景図を見せながら、ALTの読む文章を聞く。 ◎●ジェスチャーや単語を並べるなど様々な方法を駆使して伝える努力をするよう励ます。 ●◎教科名を記したカードを示しながら、ALTとテープよく発話練習をさせる。
Out-put (26)	○ 教科の呼び方のチャンツをする。 ○ 「ジェスチャーゲーム」をする。 ・ 2グループに分かれ、1人が指定された教科を身振りで表現し、残りの子どもが答える。	●◎ALTの発話に続いて、リズムよく練習させる。 ◎●集団発話により、自信のない児童も意欲的に活動に参加できるようにしたい。 ○ 時間制限を設けることで、リズムよく発話し、意欲的に取り組めると考える。
Wrap-up (8)	○ 本時の学習の基本構文と単語を教師との会話を通して、再確認する。 ○ 本時のがんばりぶりをふり返りカードに記入する。	◎●様々な方法を使って伝えようとしたこと、英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲付けを図る。
Greeting (1)	○ あいさつをする。	
評 価	関・意	○日本と外国のジェスチャーの違いを知り、コミュニケーションを楽しもうとしている。(観察)
	表 現	○日本と外国のジェスチャーを、ゲームの中で積極的に使う。(観察)

(第2時)

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝えたいことや自分の思いを、ジェスチャー等を用いて友だちに進んで伝えようとする。 (関心・意欲)</li> <li>○ 学校内のいろいろな教室や施設の言い方に親しむ。 (表現)</li> </ul>	
過 程	児 童 の 活 動	教 師 の 支 援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (1)	○ あいさつをする。(体調、天気、日付など)	●◎元気よくあいさつができるよう励ます。
Warm-up (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「The Days of the Week」を歌う。 ・歌い出しを日曜日だけでなく、月曜日などからでも歌ってみる。</li> <li>○ 前時の復習として、発話練習をする。 What subject do you like? I like ~.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎●本単元で学習する曜日に関連した歌を、体でリズムを取りながら歌わせ、意欲を喚起する。</li> <li>◎●前時の学習の想起が、積極的な発話への自信につながる。</li> </ul>
In-put (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日のめあてを知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <p>この部屋は何の教室？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ALTに質問をしたり、ALTからの質問に答えたりする。</li> <li>○ 基本構文と各教室の呼び方を知り、練習する。 What room is this? It's the~.</li> <li>○ 教室の呼び方のチャンツをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 校舎の図を提示しながら、次に学習したいことを尋ねる。</li> <li>◎●ジェスチャーや片言など様々な方法を駆使して、伝える努力をするよう励ます。</li> <li>◎●ALTの発話に続いて、リズムよく練習させる。</li> </ul>
Out-put (26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Room ルーレットゲーム」をする。 ・各教室や施設名で分割されたルーレットを使い、止まったところの教室の呼び方を全員で練習する。</li> <li>○ 「ゴールをめざせゲーム」をする。 ・2人組で教室の迷路をたどりながら、教室の呼び方に慣れる。 ・じゃんけんで負けた方が質問をし、勝った方が教室名を発話する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎●集団発話により、自信のない児童も意欲的に活動に参加できるようにしたい。</li> <li>◎ 発話の回数が必要以上に多くなったり、少なくなったりしないようルールを確認する。</li> <li>◎●自信をもって発話できない児童には、必要に応じて支援する。</li> </ul>
Wrap-up (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習の基本構文と単語をALTや参観者との会話を通して、再確認する。</li> <li>○ 本時のがんばりぶりをふり返りカードに記入する。</li> </ul>	◎●様々な方法を使って伝えようとしたこと、英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲付けを図る。
Greeting (1)	○ あいさつをする。	
評価	関・意 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝えたいことや自分の思いを、ジェスチャー等を用いて友だちに進んで伝えようとする。(観察)</li> <li>○学校内のいろいろな教室や施設の言い方に親しむ。(観察)</li> </ul>

(第3時)

目 標		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝えたいことや自分の思いを、ジェスチャー等を用いて友だちに進んで伝えようとする。(関心・意欲)</li> <li>○ 教科の言い方や好きな教科を尋ねたり、答えたりする言い方に慣れる。(表現)</li> </ul>	
過 程		児 童 の 活 動	教 師 の 支 援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (1)		○ あいさつをする。(体調、天気、日付など)	●◎元気よくあいさつができるよう励ます。
Warm-up (4)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「The Days of the Week」を歌う。 ・歌い出しを日曜日だけでなく、全ての曜日から歌ってみる。</li> <li>○ 復習として、発話練習をする。 What subject do you like? I like ~.</li> <li>○ 「ジェスチャー伝言ゲーム」をする。 ・身振り手振りや英語を使いながら、素早く教科名を伝える。 ①ジェスチャーのみで。 ②ジェスチャーまたは英語で。 ③英語のみで。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎●最初の曜日が出にくい場合は、ALTがタイミングよく発音をする。</li> <li>●◎テンポよく発話練習をさせる。その際、付け加えをしながら全教科について練習させる。</li> <li>◎●競争形式で行うことで、反射的に発話できるようにする。</li> </ul>
In-put (5)		○ 今日のめあてを知る。	
<b>自分だけの時間割を作ろう</b>			
Out-put (2 6)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本構文の言い方を知る。 What's the first period on~? We study~.</li> <li>○ 学級の実際の時間割について、ALTの質問に答えたり、チーム対抗で尋ねたり答えたりする。</li> <li>○ 自分だけの時間割を工夫しながら作る。 ・ワークシートに各自が考えた時間割を書き込む。 ・全員が自らの時間割を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●◎時間割表を指し示しながら、基本構文の発話練習をする。</li> <li>◎ 日本語または絵でもよいことを伝える。</li> <li>◎●同じ教科ばかりにならないよう、一つの教科について上限を決めておく。</li> <li>●◎特徴的な時間割について、ALTが感想を話す。</li> <li>◎●様々な方法を使って伝えようとしたことを称賛し、次時への意欲付けを図る。</li> </ul>
Wrap-up (8)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いくつかの時間割をもとに、ALTの質問に答える。</li> <li>○ 本時のがんばりぶりをふり返りカードに記入する。</li> </ul>	
Greeting (1)		○ あいさつをする。	
評価	関・意	○伝えたいことや自分の思いを、ジェスチャー等を用いて友だちに進んで伝えようとする。(観察)	
	表現	○教科の言い方や好きな教科を尋ねたり、答えたりする言い方に慣れる。(観察)	

(第4時)

目 標		○ 伝えたいことや自分の思いを、正しい英語ではなくても何らかの方法で伝えようとする。(関心・意欲)	○ 好きな教科を尋ねたり、答えたりする。(表現)
過 程		児 童 の 活 動	
		教 師 の 支 援 (◎HRT ●ALT)	
Greeting (1)	Warm-up (4)	○ あいさつをする。(体調、天気、日付など)	●◎元気よくあいさつができるよう励ます。
		○ 「The Days of the Week」を歌う。 ・ 歌い出しを日曜日だけでなく、全ての曜日から歌ってみる。	◎●体でリズムを取りながら歌わせ、意欲を喚起する。
		○ 復習として、発話練習をする。 What subject do you like? I like ~.	
In-put (5)	○ 今日のめあてを知る。		
好きな教科アンケート大会をしよう			
Out-put (26)	○ 学級全員の好きな教科をインタビューし、各自のワークシートに記入する。		◎●インタビューの仕方、答え方を全員で確認させる。 ・ 1つだけではなく、1人が3つの好きな教科を挙げる。 ・ 1度に3つ尋ねるのではなく、1回ずつ対象者を変える。 ・ 教科名だけでなく、1つの文として答える。
	○ 各自が最多の項目などアンケート結果を発表する。		●◎自信をもって発話できない児童には、必要に応じて支援する。
Wrap-up (8)	○ 全員のアンケート結果をもとにALTやHRTに質問をしたり、答えたりする。		◎●予想させながら、発表させることで意欲の持続を図る。
	○ 本時のがんばりぶりをふり返りカードに記入する。		◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、本単元のまとめとする。
Greeting (1)	○ あいさつをする。		
評価	関・意	○伝えたいことや自分の思いを、正しい英語ではなくても何らかの方法で伝えようとする。(観察)	
	表 現	○好きな教科を尋ねたり、答えたりする。(観察)	

# 第5学年 外国語活動指導案

新見市立高尾小学校

- 1 単元名 旅行に行きたいね (I want to go to [country] .)
- 2 単元目標
  - 行きたい国やその理由を尋ねたり、答えたりしながら、コミュニケーションを楽しむ。
  - いろいろな国の名前やその位置を知り、外国の文化に興味をもつ。
- 3 表現や言語材料
  - 基本構文       Where do you want to go?   I want to go to ~ by ~ .  
                  Why?        I like ~ .
  - 言語材料        America, Australia, Brazil, Canada, China, Egypt, France, Germany,  
                  India, Italy, Japan, Kenya, Korea, New Zealand, Philipines, Russia, Spain,  
                  Switzerland, UK,  
                  airplane, bike, bus, car, air balloon, motorcycle, ship, train
- 4 指導計画 (全4時間)
  - 第1時       行ってみたい国はね
  - 第2時       これに乗って行ってみたいな
  - 第3時       行ってみたい理由はね
  - 第4時       海外旅行を申し込もう
- 5 指導上の立場

本単元は、今までの英語活動や総合的な学習の時間の中で学習してきた国名や特徴的な文化・遺産などの知識を基に、"Where do you want to go?" "I want to go to ~ by ~ ." "Why?" "I like ~ ."のような英語表現を使って、コミュニケーションを楽しむことをねらいとしている。

高学年期には、「海外旅行に行ってみたい」という願いをもつ児童も少なくないと思われること、また、その根拠となる事象もはっきりしているであろうことから、伝え合う活動を楽しむことができる単元であると考えられる。また、国名や乗り物、好きな物は、今までの学習や生活の中で身につけている言語知識として、躊躇なく発話することもできやすいと考える。

また、コミュニケーション能力の育成に加えて、国際理解の観点も評価規準と考え、異文化を知る手立てを図っていきたい。



6 本時案 (第1時)

目標	<input type="radio"/> 国名や位置、特徴的な文化・遺産などのに興味をもつ。 (関心・意欲) <input type="radio"/> 行きたい国を尋ねたり、答えたりしながら、コミュニケーションを楽しむ。 (表現)	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (2)	<input type="radio"/> あいさつをする。	●◎明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
In-put (12)	<input type="radio"/> 国の名や特徴的な文化や自然、乗り物を知り、発話する。 <input type="radio"/> 今日のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">                     行ってみたい国はね                 </div> <input type="radio"/> リズムにのって基本構文を練習する。 Where do you want to go? I want to go to ~.	◎●発話の形態を、みんなで、男女で、一人だと変え、意欲を喚起する。
Out-put (20)	<input type="radio"/> 「Karuta Game」をする。 ・グループごとに「国名」を表すカードをとる。 <input type="radio"/> 「Matchig Game」ゲームをする。 ・その国の代表的な物を表す絵カードを見て、国名を当てる。 ・当てた国名のカードを地図上に貼る。	● チャンツに合わせて絵カードを示すことで、リズムよく発話することができるようにする。 ◎● ALT の読みを聞いてカルタをとる。 (取ったカードは声に出して読むよう指導する。)
In-put (5)	<input type="radio"/> 「Lin's Diary」を聞く。	●◎ ALT の日記を聞き、単語をしっかりと聞いて「国」を日本語で書き取るよう支援する。
Wrap-up (5)	<input type="radio"/> 今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲づけをする。
Greeting (1)	<input type="radio"/> あいさつをする。	

評価	関・意	○国名や位置、特徴的な文化・遺産などのに興味をもつ。(観察)
	表現	○行きたい国を尋ねたり、答えたりしながら、コミュニケーションを楽しむ。(観察)

(第2時)

目標	○ 国々の特徴的な文化・遺産や自然などの知識を広げようとしている。 (関心・意欲) ○ 行きたい国やその方法(乗り物)を尋ねたり、答えたりしながら、コミュニケーションを楽しむ。 (表現)	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (2)	○ あいさつをする。	●◎明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
In-put (12)	○ 「MKY-Station」をする。 ・各 Station で復習をする。  ○ 今日のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">これに乗って行ってみたいな</div>	◎●各 Station での活動内容を伝え、意欲を喚起する。
Out-put (20)	○ リズムにのって基本構文を練習する。 Where do you want to go? I want to go to ~ by ~.  ○ 「Karuta Game」をする。 ・グループごとに「国名」や「乗り物」を表すカードをとる。	● チャンツに合わせて絵カードを示すことで、リズムよく発話することができるようにする。  ◎●ALTの読みを聞いてカルタをとる。 (取ったカードは声に出して読むよう指導する。)
In-put (5)	○ 「Bingo Game」ゲームをする。 ・ビンゴカードに国の名前を書き、友達に行ってみたい国の発話によってビンゴを作っていく。  ○ 「Lin's Diary」を聞く。	◎●全員で Where do you want to go? 一人で I want to go to ~ by ~. が発話できるようにリズムをとる。  ●◎ALTの日記を聞き、単語をしっかりと聞いて日本語で書き取るよう支援する。
Wrap-up (5)	○ 今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲づけをする。
Greeting (1)	○ あいさつをする。	

評価	関・意	○国々の特徴的な文化・遺産や自然などの知識を広げようとしている。(観察)
	表現	○行きたい国やその方法を尋ねたり、答えたりしながら、コミュニケーションを楽しむ。(観察)

(第3時)

目標	○ 行きたい国やその理由を尋ねたり、答えたりしながら、コミュニケーションを楽しもうとしている。(関心・意欲) ○ 国名や特徴的な文化・遺産などの知識を、コミュニケーションの中で使う。(表現)	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (2)	○ あいさつをする。	●◎明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
In-put (1 2)	○ 「MKY-Station」をする。 各 Station で復習をする。  ○ 今日のめあてを知る。	◎●各 Station での活動内容を伝え、意欲を喚起する。
その国に行きたい理由はね		
Out-put (2 0)	○ リズムにのって基本構文を練習する。 Where do you want to go? I want to go to ~ by ~. Why? I like ~. ○ 「Karuta Game」をする。 ・グループごとに「国名」「乗り物」「理由」を表すカードをとる。	● チャンツに合わせて絵カードを示すことで、リズムよく発話することができるようにする。 ◎● ALT の読みを聞いてカルタをとる。 (取ったカードは声に出して読むよう指導する。)
In-put (5)	○ 「Interview Game」ゲームをする。 ・行ってみたい理由を絵に描き、インタビューに答える。 ・インタビューした内容を、カードに記入する。	◎●どの児童も自信をもって発話できるよう、必要に応じて個別に支援する。
In-put (5)	○ 「Lin's Diary」を聞く。	●◎ ALT の日記を聞き、単語をしっかりと聞いて日本語で書き取るよう支援する。
Wrap-up (5)	○ 今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲づけをする。
Greeting (1)	○ あいさつをする。	

評	関・意	○行きたい国やその理由を尋ねたり、答えたりしながら、コミュニケーションを楽しもうとしている。(観察)
価	表現	○国名や特徴的な文化・遺産などの知識を、コミュニケーションの中で使う。(観察)

(第4時)

目標	○ 行きたい国やその理由を尋ねたり、答えたりしながら、コミュニケーションを楽しもうとしている。(関心・意欲) ○ 国名や特徴的な文化・遺産などの知識を、コミュニケーションの中で使う。(表現)	
過程	児童の活動	教師の支援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (2)	○ あいさつをする。	●◎明るく大きな声であいさつし、活動意欲を高める。
In-pur (1 2)	○ 「MKY - Station」をする。 各 Station で復習をする。	◎●各 Station での活動内容を伝え、意欲を喚起する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     海外旅行を申しこもう                 </div>	
	○ 今日のめあてを知る。	
	○ リズムにのって基本構文を練習する。 Where do you want to go? I want to go to ~ by ~. Why? I like ~.	● チャンツに合わせて絵カードを示すことで、リズムよく発話することができるようにする。
Out-pur (2 0)	○ 「旅行会社ごっこ」をする。 ・ペアになり、旅行会社役とお客役に分かれて、「旅行申込書」をつくる。	◎●それぞれの「旅行会社」のアドバイザーとして、それぞれの役で、自信をもって発話できるよう、必要に応じて個別に支援する。
In-pur (5)	○ できあがった「旅行申込書」を紹介する。 ・書かれた内容を友達の前で発表する。	◎●発表を聞いた感想を、児童に発表させるとともに、双方の発表についてコメントし称賛する。
	○ 「Lin's Diary」を聞く。	●◎ALTの日記を聞き、単語をしっかりと聞いて日本語で書き取るよう支援する。
Wrap-up (5)	○ 今日のがんばりをふり返りカードに記入し、本時のまとめとする。	◎●英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲づけをする。
Greeting (1)	○ あいさつをする。	

評	関・意	○行きたい国やその理由を尋ねたり答えたりしながらコミュニケーションを楽しもうとしている。(観察)
価	表現	○国名や特徴的な文化・遺産などの知識を、コミュニケーションの中で使う。(観察)

# 第 6 学 年 外 国 語 活 動 指 導 案

新見市立高尾小学校

## 1 単元名 アルファベットで遊ぼう②

## 2 単元目標

- アルファベットの小文字の読み方を知り、アルファベットの小文字を探したり、読んだり大文字と結びつけたりする活動を通して、文字でコミュニケーションをする楽しさを体験する。
- 世界には様々な言語があることや、ローマ字と英語の綴り方は同じアルファベットを使っているにもかかわらず、表記の方法がちがうことに気づく。

## 3 表現や言語材料

### 基本構文

What's this? It's ~.

### 言語材料

A,B,C,D,E,F,G,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q,R,S,T,U,V,W,X,Y,Z

a,b,c,d,e,f,g,h,i,j,k,l,m,n,o,p,q,r,s,t,u,v,w,x,y,z

## 4 指導計画 (全 2 時間)

第 1 時 アルファベットを探そう①

第 2 時 アルファベットを探そう②

## 5 指導上の立場

現在の日本の社会には英語があふれている。特にアルファベットに関しては、コンピュータを始め、生活の中に溶け込み、町中で目にするものも多い。また、児童の持ち物の中にも、アルファベットが書かれているものが多い。

本単元では、このアルファベットを取り上げ、アルファベットを積極的に探したり、読んだり、意味を考えたりしながら、コミュニケーションを図っていきたい。

また、ローマ字と英語の綴りは、同じアルファベットを使っているにもかかわらず、表記方法が違うということにもふれておきたい。

児童は、5年生での学習で大文字について学んでいるため、ここでは、小文字を認識する活動が中心となる。既習の大文字と新たに学習する小文字の読みが一致しなければ、ポイントが増えないような必要感のあるゲームを多く設定することにより、楽しみながら、コミュニケーションを図ることができるような活動としたい。

6 本時案 (第1時)

目 標	○ アルファベットの小文字に興味をもち、読みと文字を一致させて進んで答えようとしている。(関心・意欲) ○ アルファベットには、大文字と小文字があることに気づき、それぞれを一致させる。(表現)	
過 程	児 童 の 活 動	教 師 の 支 援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (2)	○ あいさつをする。(体調、天気、日付など)	●◎元気よくあいさつができるよう励ます。
Warm-up (8)	○ 「The Alphabet Song」を歌う。	◎●本単元で学習するアルファベットに関連した歌を、体でリズムを取りながら歌わせ、意欲を喚起する。
In-put (10)	○ 今日のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px 0;">アルファベットを探そう①</div> ○ 小文字のアルファベットカードを見ながら、小文字の読み方にふれる。 ○ 小文字のアルファベットの呼び方のチャンツをする。	●◎大文字のカードを見ながら、アルファベットを発音するよう支援する。 ●◎アルファベットカードを示しながら、ALTとテンポよく発音練習をさせる。 ●◎ALTの発話に続いて、リズムよく練習させる。 ◎●集団発話により、自信のない児童も意欲的に活動に参加できるようにしたい。
Out-put (15)	○ 「Karuta Game」をする。 ・ 2グループに分かれ、ALTの指示したカードを取り合う。 ○ 「On the head Game」をする。 ・ 二つのグループを作り、任意の人数分のアルファベットカード④を覚え、ブラインドで渡された自分の頭の上のカードが何かを当てる。	○ カルタハンドを肩に担ぐ準備姿勢を徹底させ公平を保つようにする。 ◎●覚えられず、発語できない児童にはヒントを出すなどして、発語に向けて支援する。
Wrap-up (9)	○ 小文字を中心とした、アルファベットの読みを、全員で再確認する。 ○ 本時のがんばりをふり返りカードに記入する。	◎●アルファベット読み方と文字を一致させながら楽しく活動することができたことを称賛し、次時への意欲付けを図る。
Greeting (1)	○ あいさつをする。	

評	関・意	○アルファベットの小文字に興味をもち、読みと文字を一致させて進んで答えようとしている。(観察)
価	表 現	○アルファベットには、大文字と小文字があることに気づき、それぞれを一致させる。(観察)

(第2時)

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アルファベットの読みと文字、大文字と小文字を一致させながら、楽しく活動しようとしている。(関心・意欲)</li> <li>○ ローマ字と英語の綴り方は同じアルファベットを使っているが、表記の方法がちがうことに気づく。(表現・理解)</li> </ul>	
過 程	児 童 の 活 動	教 師 の 支 援 (◎HRT ●ALT)
Greeting (2)	○ あいさつをする。(体調、天気、日付など)	●◎元気よくあいさつができるよう励ます。
Warm-up (8)	○ 「The Alphabet Song」を歌う。 ・大文字のカードを見ながらと、小文字のカードを見ながらで歌う。	◎●本単元で学習するアルファベットに関連した歌を、体でリズムを取りながら歌わせ、意欲を喚起する。
In-put (10)	○ 前時の復習として、発話練習をする。 ・ What's this? It's ~. ○ 今日のめあてを知る。	◎●前時の学習の想起が、積極的な発話への自信につながるようにする。
アルファベットを探そう②		
Out-put (15)	○ 「Matching Game」をする。 ・ 2人組になり、「神経衰弱」の要領で大文字と小文字を一致させる。	◎●マッチしても、しなくても、めくったカードははっきりと相手に向かって発音するよう指示する。
	○ 「Matching Game II」(英語ノートⅡ)をする。 ・ 聞いたアルファベットの大文字と小文字が一致するように線でつなぐ。	◎●自信のない児童も意欲的に活動に参加できるようにしたい。
	○ 「What's your name? Game」(英語ノートⅡ)をする。 ・ アルファベットの文字を並べ替え、世界の偉人の名前を完成させる。 ・ ローマ字と英語の綴り方は同じアルファベットを使っているが、表記の方法がちがうことに気づく。	◎●ヒントを出しながら人物の名前を考えさせ発表させる。 ◎●自信をもって発表できない児童には、必要に応じて支援する。
Wrap-up (9)	○ 本時のがんばりぶりをふり返りカードに記入する。	◎●自分の名前表記にも関心をもたせる。
		◎●様々な方法を使って伝えようとしたこと、英語表現を使ってコミュニケーションを楽しむことができたことを称賛し、次時への意欲付けを図る。
Greeting (1)	○ あいさつをする。	

評 価	関・意 表 現	○アルファベットの読みと文字、大文字と小文字を一致させながら、楽しく活動しようとしている。(観察) ○ローマ字と英語の綴り方は、表記の方法がちがうことに気づく。(観察)
-----	---------	-----------------------------------------------------------------------------------------